



卒業おめでとう



令和三年
三月一三日

小さな目標の積み重ねが大切

校長 白岩 博明

中学校三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。みなさんは「鈴峯」から「協創」という本校の変革のときにあたり、校名改称や新校舎への引越、旧校舎の解体など、たくさんの戸惑いを感じながら過ごすことになりました。また、この一年間はコロナ禍に振り回され、本意ではない日常を過ごし、納得のいかない一年となってしまったことでしょう。

さて、卒業にあたり、有名な野球選手だったイチロー選手（二〇一九年引退）の言葉を贈ります。それは、「小さなことを重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道」という言葉なのですが、イチロー選手はある時のインタビューで次のように語っています。「目標は高くないといけないんですけど、あまりにも高すぎると挫折してしまう。だから、小さくても自分で設定した目標を一つひとつクリアして満足する。それを積み重ねていけば、いつかは夢のような境地に辿り着く」と。アメリカ大リーグで活躍し、数々の大記録を打ち立てたイチロー選手ならではの言葉です。

日々の積み重ね、努力を怠ることなく、一歩一歩の歩みが自分という人間を形成していくのでしよう。地道に積み重ねた力は自分の本当の力です。自分の底力になるのです。

これから何を目標にして歩んでいきますか。みなさんの今後の活躍を心から祈っています。

卒業おめでとうございます

中学教頭 藤島 秀成

本日、広島修道大学ひろしま協創中学校を卒業し高等学校に進学しようとしている皆さん、ご卒業おめでとうございます。

三年前、校名変更や新校舎竣工、男女共学化に向けた学校の大転換期に胸踊る思いで入学した皆さんは充実した中学校生活を想像していたはずですが、しかし、世界的なパンデミックにより忍び寄る恐怖や不安を感じたり、ライフスタイルの変化に困惑した人も多かったのではないのでしょうか。とりわけ、三年生での研修旅行や国際交流の中止は、貴重な学びの機会を失うことになってしまい大変残念でした。

二〇一〇年代に入ってテクノロジーの進化により、あらゆるものを取り巻く環境が複雑さを増し、

将来の予測が困難な「VUCA(ブーカ)時代」の到来がメディアで取り上げられました。新型コロナウイルス感染症の世界的な急拡大は、VUCAがニューノーマルになりつつあることを物語っているような気がしています。

さて、この不確実な時代に皆さんはどんな未来を創りますか。コロナ禍で見えてきた社会の変化を想定し、知識と教養を磨いて考える力を高めておくことが今以上に必要になるでしょう。また、アフターコロナではこれまでとは比較にならないぐらいの多様な社会の到来が予想されています。ダイバーシティあふれる環境に自分を置くことに臆することなく、柔軟な対応力を発揮してください。

これからの皆さんのご活躍を祈念しています。卒業おめでとう。

卒業おめでとう!!

三年A学級 担任 木坂 啓亮

3Aのみなさん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが入学した二〇一八年から、この三年間で皆さんの変化を経験し、不便な思いもたくさんさせてしまったように感じています。校舎の移転・学校名の変更&共学化・コロナによる休校、行事の中止などなど・・・

この一年間しか皆さんの様子を見ていませんが、良くも悪くもオンとオフの差がはつきりした十三人で、切り替えの速さがクラスのカラーかなと思っ



ています。何かを決めようとしたときに意見がぶつかり合うこともあれば、お互いに尊重し合って意見があつという間にまとまる場面もありました。これもまたあなたたち十三人が三年間で築き上げた絆ですね。

四月からはそれぞれの進路で新しい生活を始めることとなりますが、十三人で過ごした生活はずっとあなたたちの宝物であり続けるはずです。高校生になると科目数も増え、学習面で頑張らないといけないことに追いかけて回される一年になるうかと思いますが、勉強+αのことにできるだけたくさん挑戦して、自分自身の価値をどんどん高めていってください。カッコいい高校生になってくれることを期待しています。

ご卒業、おめでどういびいます。

三年A学級 副担任 井上裕介

三年生のみなさん、ご卒業、おめでどういびいます。

みなさんとは、中学での三年間、学校生活を共にさせていただきました。特に、二年生の時は学級担任でありながら、途中で病気になってしまい、大変なご迷惑と心配をかけてしまいました。入院中でリハビリ室にいる時に、先生方がお見舞いに来て下さり、自転車をこぎながら、みなさんからの元気な動画メッセージを見せていただきました。その時のペダルを踏む足に、力が湧いてきたことをよく憶えています。また、一人ひとりから書いてもらった「激

励のお手紙」も大切にしまっています。

その後、学校に復帰できた時にも、授業で「椅子に座って授業してください。」「思い荷物を職員室まで持って行ってあげます。」など、思いやりのある言葉をたくさんわたしに向けてくれました。本当にやさしい心が育ったクラスであるなあと感謝の気持ちでいっぱいでした。

一年生では、西川先生（現井上先生）から、中学生としての生活習慣と躰をしつかりと身に付け、また二年生では、稲田先生から大きな行事などを通して、がっちりとクラスでまとまることを学び、そして三年生では、木坂先生のもと、少人数ながら多くの後輩をリードし、自らの進路を切り拓き、大人へと成長する自覚を身に付けてきました。最後にわたしはというと、みなさんからいっぱい学ばせてもらうことばかりでした。本当にありがとうございます。

卒業おめでどうい！

二年A学級 担任 伊藤真

みなさん、卒業おめでどういびいます。この三年間どうでしたか。楽しかったこと、辛かったこと、たくさんあったことでしょうか。その全てが思い出で、その全てが勉強で、その全てが、これからのあなたたちの人生の基本となる三年間です。この三年間をどう過ごすかで、この先の未来・将来が決定する大事な時期でした。これからは、人生の基礎・基本となるこの大切な三年間をさらに磨きをかけて、発展させていってほしいと思います。

自分自身の成長の一つの節目として、「卒業」があります。みなさん、中学校の入学式を思い出してください。体は小さく、考え方も未熟だったのでないでしょうか。今のみなさんは、確実にその頃よりも成長し、大人になっているはずですよ。しかし、それは決して一人で成し得たものではありません。

保護者・先生・友達などの周りの人達の支援があったからこそなのです。「卒業」は、自身の成長とともに、周りの人達のサポートに感謝することも忘れてはいけません。周りの人達への感謝を心から感じたときに本当の意味での「卒業」となるのではないのでしょうか。

中学三年間で培った多くのことと周りへの感謝を忘れずに、これからも日々精進していただく。

「素敵」を目指せ!!!

二年A学級 副担任 佐々木公子

皆さん、ご卒業おめでどういびいます。あんなに幼い感じの皆さんがもう卒業。しかも立派に成長した姿に最近では驚くばかりです。

私が皆さんに授業で接したのは、中学校二年生と三年生。少人数でありながらバイタリティのあるところを見せてくれ、エプロンつくりや調理実習と完璧さを求めることができた二年生。そして三年生は、一歩も二歩も深いところに踏み込んで話を聞いてくれ、意見を言い、授業は大いに盛り上がりました。この二年間の家庭科の授業は大変楽しかったです。

この調子なら、自信をもって高校生活へと踏み出せると思っています。

そして、よく考えてみると、女子ばかりの中学生の最後の学年です。現代は男だ女だといわず、男女が共に作り上げる社会を構築しなければなりません。小さくてもきらりと光る宝石となることを祈っています。それぞれの「素敵」を目指してください。

ベストを尽くして

二年B学級 担任 青山 早智子

ご卒業おめでとうございます。先日、中学二年生の道徳の時間に、「何歳から大人なのか」ということを考えました。現在の成人年齢である二十歳という意見が多かったのですが、中学校を卒業して働く人がいるから、十五歳も大人と言えるのではないか、という意見がありました。みなさんはその意味では大人だと言えるのでしょうか。

大人とは選択肢が広がることも指しています。まずは高校への進学を「選択」しましたね。これから先の大きな選択では進路選択、職業選択が待っていますが、日々の時間の使い方も「選択」の一つだと思います。授業をどう受けるか、家に帰ってから何をするか。勉強が絶対解ではないと思います。何を選択するにしても、後悔しない選択をしてほしいと思います。私は選択に迷ったときは「明日の自分が後悔しないか」、自分に問うようにしています。毎日一生懸命ベストを尽くしていれば、後悔しないと思っています。

これから先、思うようにいかないこと、どう頑張っても前に進まないように感じることもあるかもしれません。そんな時こそ、一番良いと思われる選択をして、一生懸命努力を積み重ねることが大切だと思います。みなさんのさらなる成長を期待しています。

ジェンダー平等に向けて

二年B学級 副担任 竹田 勉

中学三年生のみなさんご卒業おめでとうございます。みなさんは女子中学校に入学し、共学校を卒業します。時代とともに女子教育は変わり、「女性らしく」から「男子に負けない」に変わり、共学の今は「ジェンダー平等」の実現を目指す時代になりました。

SDGsの五番目の目標にも「ジェンダー平等の実現」が掲げられています。ところが、「ジェンダーギャップ指数2020」によれば、一九〇か国中日本は二二一位だそうです。政治参画一四四位(衆院の女性議員の比率9・9%で一六七位)、経済参画は一五位と低迷しています。「女性は話が長い」、「女性は競争意識があり次々発言する」と言ったため、オリンピック組織委員会の会長が辞めました。日本でも「ジェンダー平等」の意識が高まってきましたが、女性自身が遠慮し、または遠慮せざるを得ない状況がまだまだあると思います。みなさんは周りの空気を読んで発言せずに黙っている方がいいと思いませんか？かわいく男性から好か

れる女性がいいと思いませんか？高校で学ぶ目的は人それぞれですが、「ジェンダー平等」を進めるために学ぶことを目的としても良いと思います。

「#わきまえないおんな」としてがんばってください。

卒業おめでとうございます。

一年A学級 担任 大館 善文

みなさん、卒業おめでとうございます。三年間一緒だった仲間たちとの別れに涙し、これから会うただ見ぬ仲間たちや、高校生活への期待に胸を躍らせているかもしれません。とても素晴らしいことだと思います。

しかし、先を見る前に一歩立ち止まり、以前の自分がどうであったかを振り返ってみてください。鎌倉時代の人が昔の自分を振り返って、「山も山道も昔に変わらねど 変わり果てたる 我が心かな」と詠んでいます。皆さんはどうでしょうか。自分の成長した点、変わってない点があるでしょう。残念ながら悪くなった点があるかもしれません。成長した点はさらに成長させ、変わってない点は周りや自分への影響を考えて成長か修正か考え、いい方向にもっていきましよう。悪くなった点があるならば、何故そうなったのかを考え、反省し、自分の成長につなげましよう。

次に皆さんを待ち構える高校は、中学校より自由度は大きいですが、その裏にある責任も大きくなっ

てきます。そのためには、まずは自分を良く知り、理解する必要があります。そうすれば、皆さんの進路決定などの人生設計や人間関係などでの問題も少しは抑えられると思います。

皆さんの高校での活躍を楽しみにしています。

自分に厳しく、人にやさしく！

一年B学級 担任 西谷 千花

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。さて、まず初めに、今日まで支えてくれたたくさんの方々に、「ありがとう」と言葉で伝えましょう。

一人ではここまで来られなかったはずです。

みなさんとは一年生の時に副担任として一緒に過ごしましたね。時々怒ったけど、毎日みなさんと笑って過ごしたように思います。授業・行事など初めてのことに対して、前向きにチャレンジするみなさんの姿に私もパワーをもらって、私も新たな挑戦ができた一年でした。

一度、3Aのある人に「先生、仕事楽しいでしょ？」

と聞かれたことがあります。そうなんです。私、仕事がつとも楽しいんです。でもそれは、生徒のみなさんのおかげです。みんなが笑顔で、前向きに頑張っているおかげで、私は毎日心から楽しんで頑張れました。

本当に楽しいのは、少し自分に厳しくして、ちょっと高い壁に向かって頑張るときです。手抜きをしたり、かっこつけたりしていると、いつの間にか置いてきぼり…と面白くない結果が待っています。

新しい挑戦を楽しんで！誰かのために「自分が」行動しよう！

これからのみなさんの更なる成長がとても楽しみです。全力で応援しています！

You Only Live Once



一年A・B学級 副担任 大場 梨央

“YOLO”という言葉聞いたことがありますか？

“You only live once.”の頭文字をとったものです。

人生は一度きり。自分の生きたいように、好きなように人生を創造して行って欲しいと思います。

「周りがこう言うから…」とか「自分には無理かも…」とか、「今の環境がこうだから…」とか、やらない言い訳を見つけることは楽だし簡単です。シンプルで簡単そうだけど多くの人がやっていないことがあります。それは、「始めてみる」と「継続すること」です。

例えば、フォロワー一万人の人気 YouTuber になりたいとします。まず、すべきことは、動画の撮影・編集をしてアップすることですね。これが出来たらかなり大きな前進です。「なりたくない」「やってみたいな」と思う人のうち、実際に行動に移す人は半分もいないからです。でも、動画を一本あげただけはだめで、毎日あげる、一週間に一回はあげるなど、継続が大切です。続けていけば、必ず少しずつフォロワーは増えていきます。

実際に私の知り合いは高校生の時に YouTube を初めて、九年後にフォロワー三八万人の YouTuber になりました。夢や目標は何でもいいです。周りから反対されたり、馬鹿にされるかもしれませんが、それでも、自分が「これだ！」と思ったことは、必ずチャレンジしてください。

皆さんの活躍を願っています。

